

## 緊急のお知らせ、長生炭鉱遺骨収容 報道の皆さまへ

- 1, 次回潜水調査（6月18日正午～、19日9時～ 伊左治さん単独）にむけて  
クレーン台船によるピーヤ内鉄管など障害物除去作業を4月17日（木）午前10時から午後1時過ぎまで行います。報道船は出ませんので浜などからの撮影になります。現地ピーヤ前の浜には10時前から刻む会が待機します。
  - ・沖のピーヤには、下関からタグボートでけん引したクレーン台船1隻、および作業船が2隻が出て作業します。鉄管4本、水を含んだ大きな木材多数を排出します。予定では下関で陸揚げした後、坑口ひろばに搬入します。
  - ・その後、無数の小さな木材や竹についてはを人力でピーヤ上部に持ち上げ、その後作業船で何回かけて陸にあげる作業になります。
- 2, がぜん意義が大きくなった、4月22日長生炭鉱遺骨収容、政府との意見交換会  
4月7日参議院決算委員会において、石破首相は全国生中継がされている中で「政府の対応可能な範囲を超えている」という一辺倒な対応から「（取り組みは）尊いことだと思っている」「国はいかなる責任を果たしていくべきなのか、・・・政府として判断する」など数々の積極的発言（チラシの裏に記載）をしました。4月22日の意見交換会（衆議院第1議員会館国際会議室午後1時30分から）は、がぜん、その開催意義が大きくなってきました。

しかし、厚労省人道調査室は頭撮りは認めるが「マスコミに議論を聞かせる意味が分からない」などと国民の知る権利を無視した態度です。同場所での2時30分から記者会見はユーチューブでも配信します。さらにマスコミフルオープンへ要請を続けます。
- 3, 第3次クラウドファンディング、700万円を目標に4月22日から始めます。
  - ・第2次クラファンにて、坑口補強工事の費用550万円を確保し、工事業者も決まり見積もり中です。日韓潜水調査も実施できました。しかし、視界のほとんどないピーヤ内の障害物撤去作業が難航し、今後の潜水調査・ピーヤ内作業の資金が底をつきました。4月22日から700万円（ピーヤ作業500万円・潜水調査200万円）目標のクラファンを実施します。（今後の数次の日韓潜水調査につきましては200万円では足りませんが別途、韓国の企業からの募金150万円、韓国の東北アジア歴史財団からの潜水費用補助金約50万円を活用する予定です）
  - ・4月17日のクレーン台船使用の1日の作業費用総額は約200万円

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会 井上（共同代表）090-4803-5319  
上田（事務局長）090-2062-4695